

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。

采配／落合 博満（著） ¥1,500円+税



-Amazonより内容紹介-

マスコミにはほとんど口を開かなかった、あの“落合”が10年ぶり全てを語る！選手として史上初の三冠王を3度達成（いまだ記録は塗り替えられていない）、監督としてチームを53年ぶりに日本一に導き、2004年の就任以来8年間で2回に1回はチームが優勝、2011年は史上初の2年連続リーグ優勝を果たすなど、選手として、そして監督として脅威の数字を残し続ける男、落合博満。常にトップを走り・育て続ける名将が、監督就任後初めて明かす、自立型人間の育て方、常勝組織の作り方、勝つということ、プロの仕事についてetc…。ビジネス書、人材育成、自己啓発書としても読める一冊

◎ 自信がある＝自身になる

本の中より一文を紹介します。『どんな人でも、何かの技術を身につけようと、ひとつのことに打ち込めば、性格や考え方にも変化が生まれるのだ。自分に自信が芽生えれば、他人の言うことにも耳を傾けるようになるし、自分の殻に閉じこもってしまうこともない。』この一文にはやられますよねー。卑近な例ですが、僕の20代は「税理士試験＝ひとつのこと」に打ち込んでいました。そして税理士という技術を身につけました。大した資格じゃありませんが、集中してひとつの事を学んで、成功体験を得たというのは、今後の人生で大きなものになると思っています。

得たものは自信にもなりました。というか、皆さまもお会いした方は分かると思いますが、僕は基本的に自信家です(笑) 普通の人よりもセルフイメージが高いと思います。ただ、そこに資格を取得したという結果も得たので、より自信が出ました。自信が出ると他人の話を聞かないと思ってしまいましたが、落合さんが言われるように、逆なんです。理由は「受け入れる幅が広がった」のだと思います。私の周りを見渡してみると、自分に自信が無いような人ほど、他人の話を聞こうとしません……。どっちが先なのかは分かりませんが。

最後に、ボブ・ディランの言葉で締めたいと思います。「私が自信を持って出来ることは、自分自身であること。たとえ自分という存在が、どんな人間であろうとも。」これに尽きますね。

【気づきの逸文】

- ▶ 孤独に勝てなければ、勝負に勝てないのだ
- ▶ 誰もが不安を抱えているからこそ、試行錯誤しながら努力を続けられるのである
- ▶ 技術を持っている人間は心を病まない
- ▶ 勝てない時は負けない努力をするんだ
- ▶ プロ野球は契約社会でありながら、肝心な場面でその契約が二の次に考えられる
- ▶ シンプルに伝えようとすると、相手の耳に入りにくい
- ▶ 任せるところは1ミリも残らず任せきる
- ▶ 自分にない色（能力）を使う勇気が、絵の完成度を高めてくれる